



キャスター付き頑丈収納ラック

取扱い・組み立て説明書 **NOPRシリーズ共用**

この度は、当製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
使用前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しい使い方で未永
くご愛用ください。この説明書は組み立て後も捨てずに、大切に保
管しておいてください。



品質表示

- 外形寸法(約) NOPR-5726: W26×D51(取っ手を含む奥行き: 57)×H64.5(cm)
NOPR-5738: W38×D51(取っ手を含む奥行き: 57)×H64.5(cm)
NOPR-5744: W44×D51(取っ手を含む奥行き: 57)×H64.5(cm)
NOPR-7526: W26×D69(取っ手を含む奥行き: 75)×H64.5(cm)
NOPR-7538: W38×D69(取っ手を含む奥行き: 75)×H64.5(cm)
NOPR-7544: W44×D69(取っ手を含む奥行き: 75)×H64.5(cm)
- 構造部材 フレーム: 金属(スチール)
- 表面加工 フレーム: エポキシ樹脂塗装

MADE IN CHINA

【完成図】
組み立ての際、参考に
してください。

- 下記の耐荷重の範囲内でご使用ください。
全体耐荷重:40kg 棚板:20kg(1枚あたり)
- 高温多湿ではない室内で、水平な場所に設置してください。
- 過度に重いものを載せないようご注意ください。

イラストはNOPR-7526ですが、他サイズも同様に組み立ててください。

部品明細

■組み立てる前に部品が揃っている事をご確認ください。

<p>(A)フレーム</p> <p>上</p> <p>パネル受け</p> <p>パネル受けが 付いている方が 内側になります。</p> <p>下</p> <p>キャスター取り付け用穴が ある方が下です。</p>	<p>(B)棚板</p> <p>※平らな方が上になります。</p>	<p>(C)サイドパネル</p> <p>※線材がある方が内側になります。</p>
	<p>(D)キャスター(ストッパー付/無)</p> <p>ストッパー</p> <p>各2</p>	<p>(E)ハンドル</p> <p>1</p>
<p>2</p>	<p>(F)六角ボルト</p> <p>予備1含む 11</p>	<p>(G)ねじ穴隠し</p> <p>4</p> <p>(H)六角レンチ</p> <p>1</p> <p>(J)スパナ</p> <p>1</p>

組み立て順序

- 各締め付け箇所は仮止めし、組み立て完成后各箇所をしっかりと締め直してください。
- 電動ドライバーはご使用にならないでください。

1 フレームに棚板を取り付けます。

上

下

(A)フレーム

(B)棚板

※(H)六角レンチをお使いください。

(F)六角ボルト

(F)六角ボルト

(F)六角ボルト

キャスター取り付け用穴がある方が下です。

！ ボルトは「仮締め」してください。

！ フレームはパネル受けが付いている方を内側にしてください。

！ 棚板を取り付ける際は、平らな方を上にしてください。

！ 本体や床に傷が付く恐れがある場合は、あて布等を敷いてから組み立ててください。

2 1で組み立てた本体に、もう片方のフレームを取り付けます。

上

下

1で組み立てた本体

(A)フレーム

(F)六角ボルト

(F)六角ボルト

(F)六角ボルト

※(H)六角レンチをお使いください。

！ ボルトは「仮締め」してください。

！ フレームはパネル受けが付いている方を内側にしてください。

組み立て順序

■各締め付け箇所は仮止めし、組み立て完成后各箇所をしっかりと締め直してください。
 ■電動ドライバーはご使用にならないでください。

3 2で組み立てた本体を逆さにし、キャスターを取り付けます。

(D)キャスター (ストッパー付)
 (D)キャスター (ストッパー無)
 ※(J)スパナをお使いください。

上
 下

2で組み立てた本体

！ キャスターはストッパー付きとストッパー無、それぞれ揃えて取り付けてください。

5 4で組み立てた本体にハンドルとネジ穴隠しを取り付けます。最後に各部にゆるみがない事を確認して完成です。

！ 全てのボルトを「本締め」してください。

※(H)六角レンチをお使いください。

(E)ハンドル
 (F)六角ボルト
 (G)ねじ穴隠し

！ ハンドルはストッパー付きキャスターが付いている方に付けてください。

！ ハンドルは反対側に付ける事もできます。

フレームの前後に取り付けてください。

4で組み立てた本体

4 3で組み立てた本体を起こし、サイドパネルを取り付けます。

(C)サイドパネル

！ サイドパネルを取り付ける際は線材がある方を内側にし、両端をパネル受けに差し込んでください。

3で組み立てた本体

